

幸手市ステーションギャラリー過去の展示作品

展示期間

令和6年3月1日 ~ 令和6年4月2日

団体名

幸手市郷土資料館

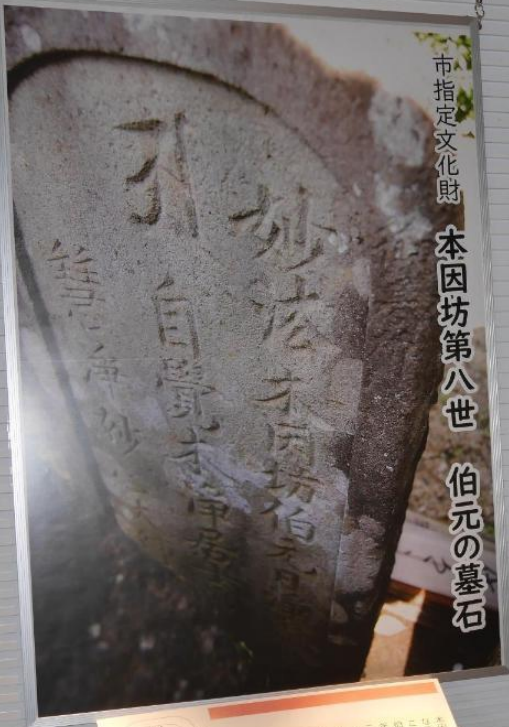
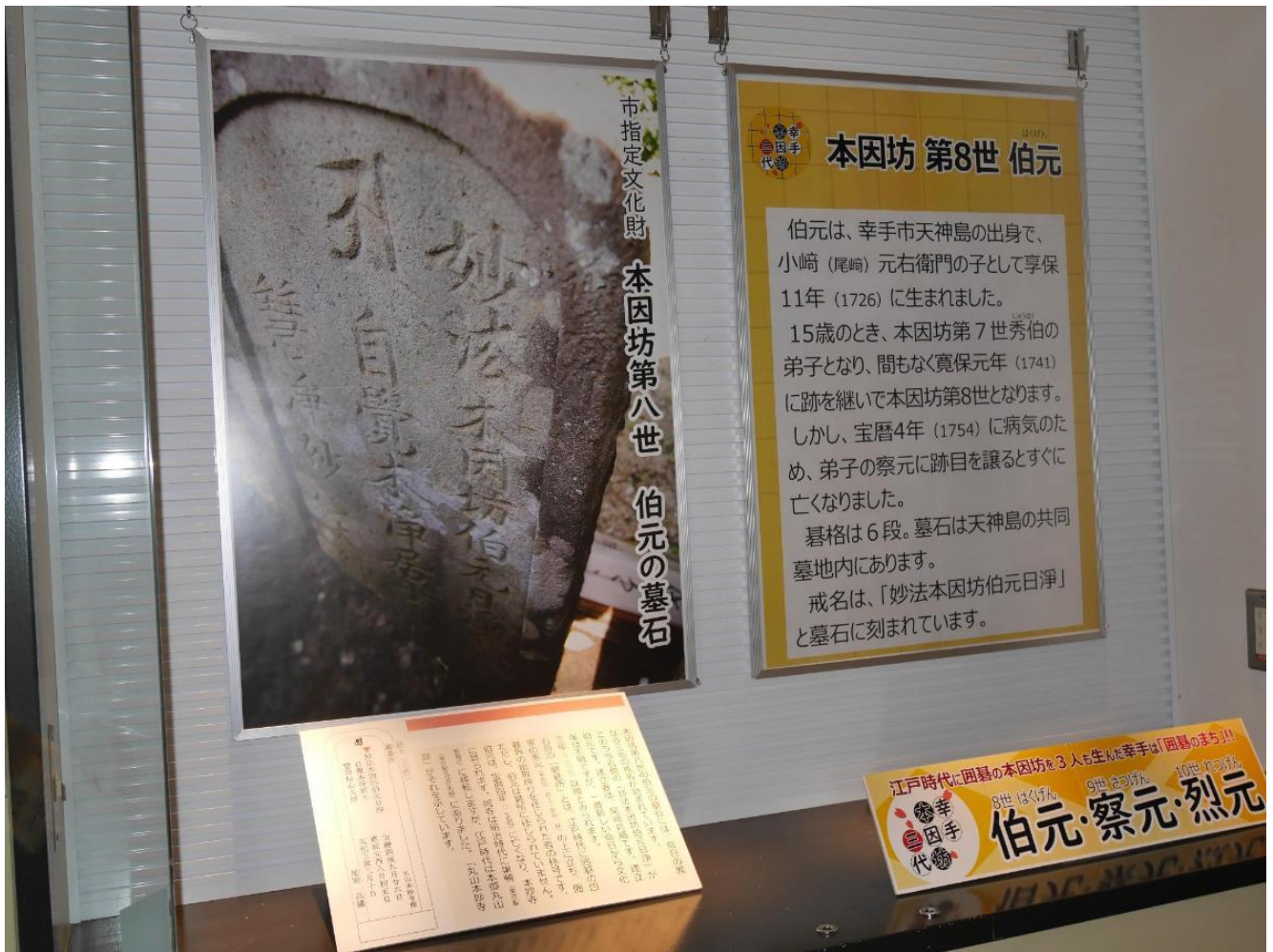
作品名

幸手の歴史と文化

団体の紹介

江戸時代に囲碁の本因坊を3人も生んだ幸手は「囲碁のまち」です。

このステーションギャラリーでは、8世「伯元」・9世「察元」・10世「烈元」と、市指定文化財になっているそれぞれの「墓石」について、解説文と写真パネルで紹介しています。



市指定文化財 本因坊第八世 伯元の墓石

本因坊 第8世 伯元

伯元は、幸手市天神島の出身で、小崎（尾崎）元右衛門の子として享保11年（1726）に生まれました。

15歳のとき、本因坊第7世秀伯の弟子となり、間もなく寛保元年（1741）に跡を継いで本因坊第8世となります。しかし、宝暦4年（1754）に病気のため、弟子の察元に跡目を譲るとすぐに亡くなりました。

碁格は6段。墓石は天神島の共同墓地内にあります。

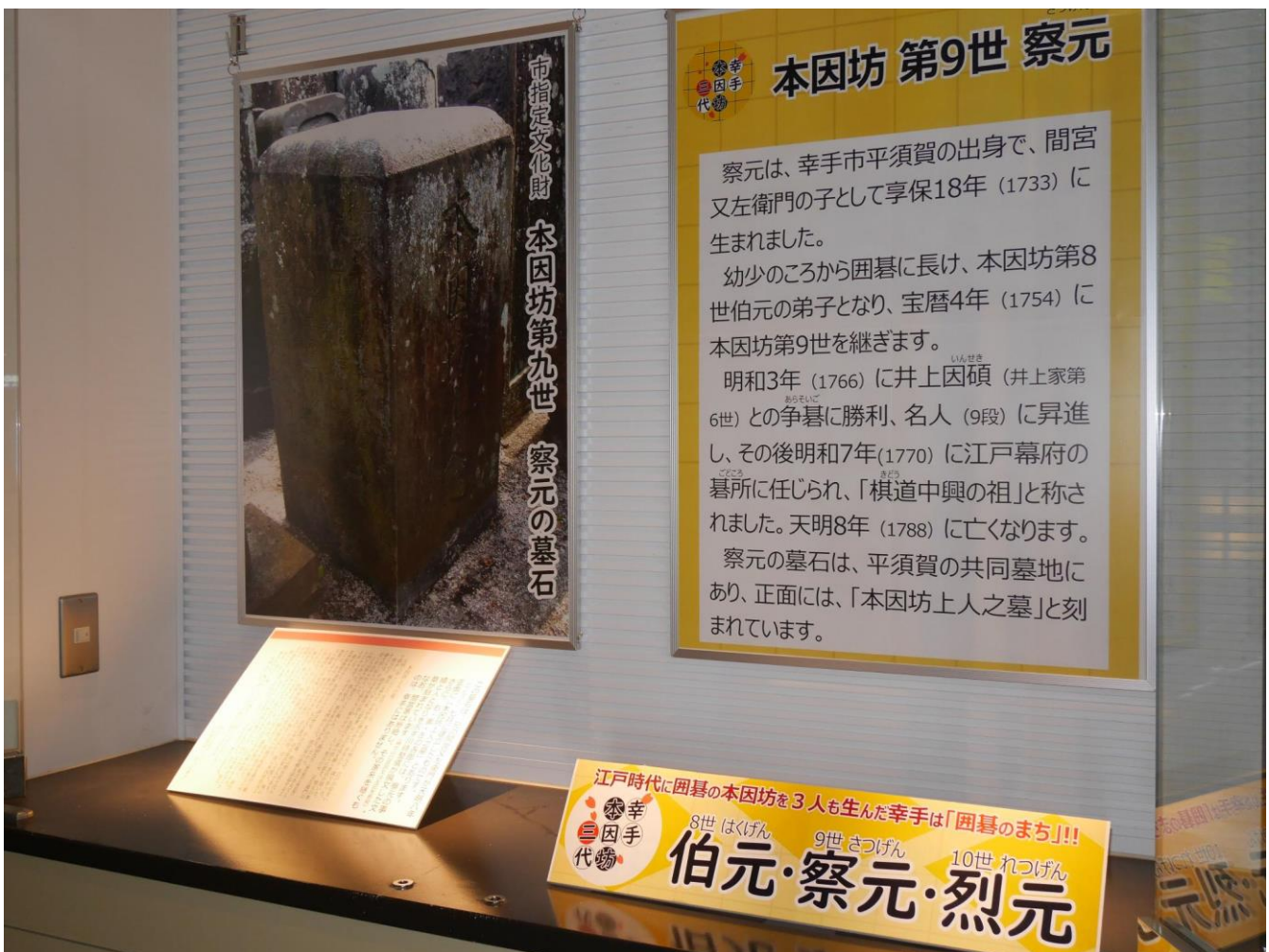
戒名は、「妙法本因坊伯元日浄」と墓石に刻まれています。

江戸時代に囲碁の本因坊を3人も生んだ幸手は「囲碁のまち」!!!

8世 はくけん 9世 さつげん 10世 れつげん

伯元・察元・烈元

伯元は、享保11年（1726）に天神島で生まれました。幼少のころから碁に長け、15歳のとき、本因坊第7世秀伯の弟子となり、間もなく寛保元年（1741）に跡を継いで本因坊第8世となります。しかし、宝暦4年（1754）に病気のため、弟子の察元に跡目を譲るとすぐに亡くなりました。碁格は6段。墓石は天神島の共同墓地内にあります。戒名は、「妙法本因坊伯元日浄」と墓石に刻まれています。



市指定文化財 本因坊第九世 察元の墓石

本因坊 第9世 察元

察元は、幸手市平須賀の出身で、間宮又左衛門の子として享保18年（1733）に生まれました。

幼少のころから碁に長け、本因坊第8世伯元の弟子となり、宝暦4年（1754）に本因坊第9世を継ぎます。

明和3年（1766）に井上因碩（井上家第6世）との争碁に勝利、名人（9段）に昇進し、その後明和7年（1770）に江戸幕府の碁所に任じられ、「棋道中興の祖」と称されました。天明8年（1788）に亡くなります。

察元の墓石は、平須賀の共同墓地にあり、正面には、「本因坊上人之墓」と刻まれています。

江戸時代に囲碁の本因坊を3人も生んだ幸手は「囲碁のまち」!!!

8世 はくけん 9世 さつげん 10世 れつげん

伯元・察元・烈元

察元は、享保18年（1733）に平須賀で生まれました。幼少のころから碁に長け、15歳のとき、本因坊第8世伯元の弟子となり、宝暦4年（1754）に跡を継いで本因坊第9世となります。明和3年（1766）に井上因碩（井上家第6世）との争碁に勝利、名人（9段）に昇進し、その後明和7年（1770）に江戸幕府の碁所に任じられ、「棋道中興の祖」と称されました。天明8年（1788）に亡くなります。碁格は9段。墓石は平須賀の共同墓地内にあります。正面には、「本因坊上人之墓」と刻まれています。